

北海道ミロク会計人会だより

悠久の大地

発行 者：北海道ミロク会計人会（札幌中央区 MJS 支社内）
発行責任者：中 村 泰 道
編集責任者：広報委員会 委員長 大 西 啓 二



北見ハッカ記念館

主な記事

ご挨拶	2	理事就任のご挨拶	7
第 47 回定期総会報告	3	きたの泉	8
第 47 回定期総会北見大会の参加お礼	4	いわて盛岡大会	9
第 47 回定期総会に参加して	5	経営支援プロジェクトについて	10
昼食会に参加して	5	MJS 社員のご紹介	11
委員会報告	6	編集後記	12
理事退任のご挨拶	7		

表紙写真

明治 35 年頃から生産が始まった北見のハッカは昭和の初期に全盛期を迎え、当時は世界ハッカ市場の約 70%を占め、現在の北見の礎を形成する重要な産業でした。

北見地区 小作龍二



ご挨拶

北海道ミロク会計人会
会長 中村 泰道

第47回の定期総会は、2022年7月22日、北見の地において盛会裡に終えることができました。コロナ禍の影響で、実に3年越しの開催となりました。

関係各位のご協力に心より御礼申し上げます。

さて、私中村は、第44回の定期総会（in 函館）にて中原章博先生の後任として北海道会会長に就任したのですが、それからはや3年が経過いたしました。私個人としましてはあっという間の3年間です。まだまだやり足りないことが多々あるな、と思いつつ考えておるところでございます。

その3年前のごあいさつから継続してかけさせて頂いているのが、私なりに考えている会計人の活動方針の大きな2つの柱です。今後もこの2つの柱を軸に、皆様にとって「入ってよかった」会計人となるよう努めて参ります。

① 会員の皆様の研鑽、情報収集、懇親のニーズにお応えすること。

会員の皆様から寄せられたご意見・ご要望を参考にして、各種研修会（職員の方の研修も含みます）や情報交換会、意見交換会を開催するほか、最新の情報、重要性の高い情報を、広報誌やWEBページ等を通して会から皆様に積極的に提供いたします。また、会員同士の懇親をより深めることで、上記の情報交換会等や下記のMJSへの提言

等に関する議論も活発化するのではないかと考えております。

これらに加え、北海道会として今後連合会（全国会）を巻き込んで会全体として実現したく考えていることの1つが、MJS独自のシンクタンク等が回答した実務上の質疑応答事例のデータベース化です。早晩に実現できるものではないと思われませんが、こうした皆様にとって有用なサービス構築への働きかけも積極的に行っていきたいと考えております。

② MJSシステムへの「愛を込めた、どぎつい」提言を行うこと。

会計事務所が質の高いサービスをリーズナブルにお客様に提供するためには、業務の効率性を阻害する使い勝手の悪いシステムを使ってはならないと考えます。

また、かつて効率性をもたらしていたシステムも、昨今の新技術等を生かした機能改善、開発に関する競争の激化を背景に、相対的な利便性が劣る結果となるリスクを常にはらんでいます。

業界大手のMJSシステムにおいてさえもその影響は甚大で、このような荒波を乗り越え、お客様に対するサービスの質の維持・向上を実現するためには、会計人としては、いわば身内ともいえるMJSに対して、ユーザーとしての会員の忌憚なき声を意見として届けることが重要と考えます。身内だからと遠慮するのではなく、身内だからこそできるどぎつい（だけど愛のある）提言も積極的に行っていきたいと考えております。

今後も皆さまのご参加とお力添えを賜りましたら幸いです。

どうぞよろしくお願いたします。

第47回 定期総会報告



総務委員長 服部 邦彦

令和4年7月22日（金）午後1時30分より、北見市のホテル黒部に於いて本会第47回定期総会を開催いたしました。北海道ミロク会計人会の会員31名の出席と、MJSからは是枝周樹代表取締役社長、その他多数の役職員のご来賓を迎え、3年ぶりの対面での総会となりました。

第1部の記念講演会として、元東京農大教授であります黒瀧秀久様による「地域活性化とオホーツク」と題しての講演をいただきました。

その後第2部として、第47回定期総会が行われました。中村会長の御挨拶の後、北見地区会の佐々木儀幸会員が議長となり令和3年度の事業報告と決算の承認、また次年度の事業計画と予算の承認をいただきました。その後、次期開催地を札幌地区に決定して議案は全て終了。各地区会からの報告事項を終えて議長の退任の後にコーヒーブレイクとなりました。

再開後は連合会事務局の竹内部長より10月のいわて盛岡大会についての案内があり、最後に北海道税理士会副会長の藤原誉康様、北見支部長の西

田篤史様そして是枝周樹(株) MJS 代表取締役社長と由井俊光取締役副社長からご挨拶をいただき定期総会は盛会裡に終了いたしました。

その後、第3部の懇親会では津別町在住でオホーツクを中心に活躍されている夫婦デュオのホラネロ様の心地よい演奏、さらには札幌支社の皆様総出の熱いダンスを楽しんだ次第です。

その後はコロナ禍ということもあり2次会のセッティングはありませんでしたが、皆様北見の夜を楽しんでいただけたのではと思っております。

翌日のパークゴルフは雨天のため中止となりましたがオホーツクビール園にて昼食を楽しみました。

このように楽しい定期総会を準備していただきました、小作龍二地区会長をはじめとする北見地区会会員の皆様とMJS札幌支社の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、私事ですが17年務めさせていただきました総務委員長を退任させていただくこととなりました。あっという間の17年であったように思いますが、15回参加した各地の統一研修会では楽しい思い出が沢山できました。今後は一総務委員として委員会に参加しますし、統一研修会にも参加したいと思っておりますので今後ともよろしく願いいたします。



▲記念講演会講師 黒瀧秀久氏



▲定期総会の様子

第47回定期総会北見大会の参加お礼



北見地区会会長
小 作 龍 二

令和4年7月22日北見ホテル黒部において第47回定期総会北見大会が開催されました。お忙しい中、また遠方よりご参加いただきましたご来賓や会員の皆様、ご協力いただきました関係各位の皆様へ感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。

第45回、第46回の定期総会も北見での開催が予定されておりましたが、皆様ご承知のとおり新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催が中止となり、2年連続で書面による審議となりました。3回目となる今年も開催の是非を検討いたしましたが、感染防止対策を徹底した上で無事開催することができました。

当日、第一部の記念講演会では前東京農業大学教授、アグリイノベーション大学校顧問の黒瀧秀

久先生をお招きし「地域活性化とオホーツク」をテーマにお話をしていただき、予定時間を延長するほどで、会員の先生方も熱心に聞き入っていました。

第二部の定期総会にご来賓として北海道税理士会から藤原副会長、西田北見支部長、また（株）ミロク情報サービスから足枝社長、由井副社長、石川執行役員をお招きし、北見地区会の佐々木儀幸会員が議長となり、速やかな議事進行により全ての議案が可決承認され無事終了しました。

第三部の懇親会では地元オホーツクを拠点に活躍するフルートとギターによる夫婦ユニットHORANERO（ホラネロ）の演奏と、毎回恒例のMJSの社員の皆さんによる韓国人気グループBTSを彷彿とさせるダンスで盛り上がりました。

3年ぶりに皆さんと顔を合わせての定期総会、懇親会でしたが、来年予定の札幌大会に期待しつつ無事終了することができました。ありがとうございました。



▲ HORANERO 演奏



▲ 演奏に聴き入る会員

第47回 定期総会に参加して



旭川地区会
多田 幸彦

第47回定期総会が北見市で開催されました。

同市は私にとって大変思い出深い地で、30数年前妻との新婚生活を送ったのも、長男に恵まれたのも彼の地であり、懐かしさに浸りつつ総会に出席致しました。

定期総会での各議案は全て承認され、続く黒瀧秀久氏による公演は実例を挙げた内容で、地域活性化

化を考える上で大変参考になりました。

その後の懇親会では、ホラネロさんの演奏に癒されたと思えば、MJSの皆さんのパフォーマンスに圧倒され、気が付けば諸先輩にご挨拶もできず、あっという間に終了の時間となっております。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの会場開催であり、関係者の皆様のご苦勞はいかばかりかと拝察致しますが、私自身の反省も踏まえ、できれば第48回定期総会も会場でお会いしたいと思います！



▲懇親会の様子



▲MJS社員によるアトラクション

昼食会に参加して



札幌地区会
大西 啓二

北見での総会も無事終了した翌日のパークゴルフですが、残念ながら、雨のため中止となりました。

そのため昼食会のみとなりました。

私はパークゴルフは未経験でして、直前に下記のように情報を集めておりました。

- ・打数で競う (当たり前ですが) ・パー3~パー5がある (パー5? どんな距離?) ・フェアウェイにOBゾーンなるものがある (そもそもクラブの

構造上、ロブショットとかできるのか?)。単純に面白そうだと思い、少しだけ燃えていただけに残念です。

次回は是非、パークゴルフをしたいです。そもそも、普段パークゴルフをする仲間がいません(笑)。

昼食会ですが、オホーツクビアファクトリーで行いました。様々な地ビール

があって是非飲みたかったのですが、この後運転の予定があったので、飲めなかったです。

玉ねぎが丸ごと1つ入ったカレーを食べて、あわただしく空港に向かいました。玉ねぎ、とてもおいしかったです。

次回はもう少しゆっくりと北見を堪能したいと思いました。



▲昼食会 小作地区会長のご挨拶



▲昼食会の様子

委員会報告

総務委員会活動計画

第47回定期総会北見大会におきまして服部先生から委員長のパトンを引き継ぎました、アウローラ税理士法人の町屋敷です。

パトンを落とさぬよう、各会員と北海道ミロク会計人会の更なる躍進と私どもの得意先である企業のため、微力ながら努力していきたいと考えております、どうぞよろしくお願い致します。

総務委員会令和4年度活動計画について、総務委員会としては6項目を掲げてい

ます。先の述べましたとおり、各委員会と連絡協調し、各会員と得意先企業のための情報発信、北海道ミロク会計人会の基盤強化に資する、会員へのアンケートや意見交換会の開催等から情報収集・発信をしたいと考えています。

また、10月に開催する第46回全国統一研修会いわて盛岡大会に参加し、全国の情報発信できればと考えています。



委員長 町屋敷 秀 勝

広報委員会活動計画

①悠久の大地

9月発行に日途、1月はこれから対応します。コロナに関係なく、提供できております。

②チャンネル

令和5年発行予定ですが、準備が進んでおります。北海道会らしい情報提供が出来ていたらよいと思います。

③いわて盛岡大会

開催に向け告知できております。無事開催できることを祈っております。

④バージョンアップ情報

悠久の大地、ライラック通信で情報提供いたします。

⑤有効活用事例

④と同様

⑥他委員会の連携

長期的視点で進める予定です。



委員長 大 西 啓 二

研修委員会活動計画

税経システム研究所講師による研修会ですが、昨年からは基本的にZoomによる配信となっております。今年度から新たな試みとして、当日どうしても参加できなかった方のために研修終了後1週間程度のアーカイブ視聴(録画データの視聴)を行っております。

私自身も受講してみました、非常に便利ですので、是非ご利用ください。(税理士会への申請はご自身で行っていただくこ

とやその他研修扱いとなることなど、ご注意ください)

また、正会員*の皆様にはご案内されていると思いますが、コロナ渦で会計会の余剰金が増えたことの還元策として研修受講料の優待(正会員ご本人様のみ2,000円割引)を実施することとなりましたので、併せて一層のご利用をお願い申し上げます。

*正会員 = NX-pro ご利用中の会員様



委員長 浦 田 敏 仁

情報ネットワーク委員会活動計画



① MJS の業務システム、Fintech、クラウド、ハード機器、ネットワーク知識等会計事務所の生産性、効率化を図るための情報発信を目的とした研修会や情報交換会を研修委員会と連携して行う。

② MJS のシステムや他のシステムも連携した活用事例や WEB 会議、テレワーク業務、遠隔操作等の「非対面」で活用できるシステム、ツールについてシステム開発委員会・広報委員会と連携して情報提供を行う。

③ 会員からの実務上の問い合わせに MJS、

税経システム研究所等のシンクタンクが回答した質疑応答事例のデータベース化等、会員向けコンテンツの充実について研修委員会・広報委員会と協力して検討する。

委員会は、すっかりハイブリッド型で定着してきました。今年も各委員会との共催になりますが、MJS システムを利用した事務所の業務改善や効率化、生産性をあげるための研修や有益な情報を発信していきたいと考えています。

委員長 久保 且佳

システム開発委員会活動計画



いつもシステム改善要望アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。要望の多い改善案については、優先されます。一度送ったけれど、改善されなかったとい

う案も引き続きお送りいただけると、改善につながります。お手数ですが、何度でもお送りいただけますよう、よろしく願いいたします。

委員長 島 元 宏 忠



理事退任のご挨拶

本 庄 雅 人

この度の定時総会で北海道ミロク会計人会の理事を退任することになりました。コロナの影響で地区会及び道会の理事としての活動も満足に行うこともできず、心残りであります。ミロク会計会の一員として新たな体制に今後も協力したいとおもいます。



理事就任のご挨拶

高 橋 俊 光

この度の役員改選にて、帯広地区会の会長に選任された高橋です。

前回の会長は平成 19 年と、長いブランクがありますので、会の運営を上手に出来るのか不安でいっぱいです。

引き受けた以上、会員の皆様の助けを借りて、2 年間無事に乗り切りたいと思っていますので、よろしく願い申し上げます。

きたの泉

「道の駅」



私は道内出身なのですが、北海道はとても広く、四季を通して見て、食べて、遊んでと色々な楽しみがあります。

暇を見つけては家族とドライブに出かけることが好きで、2年前からは一頭目の犬がメンバーに加わり、彼女も喜んで(?) ついてきます。



この写真は引きすぎて何が写っているかわかりませんが、車の窓からは愛犬と私がカメラ日線を送っています。

これはなにも愛犬の自慢などではなく、昨年秋のドライブの目的地、オホーツク海に面した「道の駅おうむ」に到達したときのものです。

私が住む旭川市から雄武町まではそれほど遠くはないのですが、そこは道内で2か所の廃止駅を含み、129か所登録されている「道の駅」の一つで、我が家にとっては道内全ての「道の駅」到達の最後を締めくくった目的地でした。

以前は道の駅に寄るとスタンプラリー帳にスタンプを押していたのですが、数年前に道の駅名が記された「ピンバッチ」が購入できる「ガチャガチャ」を見つけ、「道の駅あさひかわ」での購入をきっかけ

として、「ピンバッチ」の収集へとドライブの目的も変わってしまいました。

遠い目的地へ行く時には、効率的に回ることができるルートを探しますが、なかなか一筆書きのようにはいきません。

またドライブの目的が収集になった結果、行く先々の名物をゆっくり楽しむ余裕もなく、慌ただしいことだけが思い出となって、最後の目的地に辿り着くまで6年もかかってしまいました。

中でも「フォーレスト 276 大滝」では当時休館中（のちに廃止決定）のためゲットできずなんとも残念な結果を味わいましたが、後日企画会社から制覇達成者へと同駅の「ピンバッチ」がプレゼントされ、コレクションの台紙の空欄をめでたく埋めることができました。

ところで、同駅の名所だった「一億円のトイレ」の自動ピアノは今どうなっているのでしょうか。

余談ですが、先日の「北海道ミロク会計人会第47回定期総会北見大会」へ出席した際には写真の車の走行距離が150,000kmに達しました。

旭川地区会 原田 裕敏





第46回全国統一研修会いわて盛岡大会が10月13日（木）にホテルメトロポリタン盛岡にて開催されます。東北会で掲げたテーマは「岩手から新しい未来へ」です。

基調講演と各分科会につきましては、下記が予定されております。

基調講演：脳科学者／医学博士／認知科学者 中野信子氏【ニューロマーケティング】
～消費者の深層心理を探る～

第一分科会：ミロク会計人会連合会 情報ネットワーク委員会「電子インボイス・電帳法への取り組み」

第二分科会：前岩手県等の市長 本田敏秋氏「震災とコミュニティを考える」

第三分科会：株式会社オガール 岡崎正信氏「町の未来をこの手でつくる」

記念旅行は、「東北の新・世界遺産・大自然、三陸復興の軌跡を辿る3日間の旅」というタイトル通り、北東北の魅力が詰まったコースとなっております。

また、恒例となっております単位会対抗懇親ゴルフ大会は、2016年にはアリナミンVカップも開催された「メイプルカントリークラブ」にて開催します。

東北で仙台以外での開催は初めてとなります。是非この機会に北東北のミロクに触れてみませんか？ 皆様お誘いあわせの上ご参加頂けますようお願い申し上げます。



申込用 QR コード



連合会の委員会は、全国統一研修会いわて盛岡大会の第一分科会を担当することになりました。テーマは、今、一番ホットな話題である、電子インボイスと電帳法を取り上げています。MJSシステムを活用してどのように業務を行うか、会員には一番気になるところです。参加した皆さんにわかりやすく、疑問点を解決するような内容にするために、連合会の委員会メンバーは準備しています。多くの皆さんに参加していただければと思います。

情報ネットワーク委員長 久保且佳



東北ミロク会計人会事務局担当の加藤です。準備委員会の回数を重ねる毎に北東北の新しい魅力を知る機会となり、大会当日がどんどん楽しみになっています。派手な事はあまりないかもしれませんが、東北の歴史・文化を大事にしながら、未来へ向けてのメッセージをお届けできるよう準備しておりますので、この機会に是非いわてへお越し下さい。

東北ミロク会計人会 加藤 尚美

経営支援プロジェクトについて

(株)ミロク情報サービス
DX 事業戦略室 室長 平 子 恵 生



経営支援プロジェクトチームは、令和3年6月にミロク会計人会連合会理事会にて正式決定・発足しました。このプロジェクトチームの目的は、「顧問先企業の経営改善と成長支援のための経営支援サービスを開発する」ことです。また併せて、テクノロジーを活用してデジタルトランスフォーメーション（DX）を実現し、新たな付加価値を生み出すとともに事務所や顧問先の生産性の向上も目指しています。

この経営支援サービスとして大きく2つのサービスを開発しています。一つは経営分析ツール「MJS Management Informatics (MMI)」、もう一つは将来の現預金残高の推移を予測するツール「Cash Flow Management (CFM)」です。MMIでは顧問先企業を「業種」「地域」「規模」等で他社と比較し顧問先企業の「強み弱み」を客観的に示すとともに、経営分析も顧問先の特徴にあった独自の分析資料（経営ダッシュボード）のアウトプットができます。CFMは過去の財務データをAIが学習し当面6か月間の現預金残高の推移を予測するサービスです。同時に様々な経営改善の打ち手を入力することで6か月後の現預金残高を改善させる最善手を探る「シミュレーション機能」も搭載します。

我々は経営支援サービスに加え、DXプラットフォーム（Hirameki7）の検討もしてまいりました。具体的には事務所にあるACELINK NX-Proの顧問先のデータをクラウド上の「MJS データレイク」に集約しデータの利活用を行い、DXプ

ラットフォーム上で様々なサービスを提供するというものです。また、今まで会計人会の先生方の事務所に「点」として存在していた「顧問先データ」をデータレイクに集約し「ビッグデータ」として利活用することで顧問先の事業の継続・発展を支援し、そして「点と点」であった「金融機関・外部専門家」や「顧問先同士」がDXプラットフォームを通じて「つながる」ことを目指しています。

今年の6月よりプロトタイプが完成し実証実験を開始しております。全国の会計人会の皆さまには説明会を開催してまいりましたが、北海道会では7月22日に定期総会の際に「経営支援プロジェクトチーム報告会」を、8月18日にはMJS札幌支社とWEBにて「個別説明会」を開催させていただきました。引き続き説明会を開催させていただきますので、実証実験への積極的なご参加を何卒よろしくお願いたします。

仮登録画面はコチラ

<https://www.hirameki7.io/pre-entry/>



▲説明会の様子①



▲説明会の様子



▲個別説明会の様子

MJS 社員のご紹介



札幌支社

会計事務所・
顧問先企業を
担当しています！



ソリューション 北海道支社

企業を担当しています！



北東圏統括部長



道東サービスセンター



札幌支社、ソリューション北海道支社の2
支社体制にて皆様のお役に立てるよう頑
張りますので、今後ともよろしくお願
いいたします。

2024年1月「すべての事業者」が対象です!!

国税関係書類 「電子取引データ保存義務化」

2022年1月に義務化は施行されていますが、
やむを得ない事情がある場合は義務化が猶予されています。

国税関係 書類とは?

契約書・見積書・請求書・領収書など取引を証明する書類です。最低7年間の保存義務があります。これらの書類を電子取引で授受した場合、紙に印刷ではなく電子データのまま保存することが義務づけられました。



電子取引 とは?

メール・クラウドサービス・スマホ決済・ネットバンキングなどで請求書や領収書などを授受することです。複合機などでFAX受信した場合も、印刷を行わない場合は電子取引となります。

どのように 保存するの?

電子取引データの保存には次の要件を満たす必要があります。

見読可能性	記録事項をディスプレイの画面に整然とした形式で明瞭な状態で速やかに確認できること。
検索機能	取引年月日・取引先・取引金額による検索。※ ※取引日付・金額の範囲指定検索と二つ以上の記録項目を組み合わせた検索は、ダウンロードの要請に応じれば不要です。
いずれかの 対応	①タイムスタンプ付与して保存 ②事務処理規定の作成と運用 ③訂正削除履歴管理または訂正削除不可システムの利用

※前々年の売上高が1,000万円以下の場合、検索要件は免除となります。

「電子取引とは?」「どのように保存するの?」あなたの悩みを解決します!!

タイムスタンプを付与して簡単・安心・安全に電子取引データ保存が可能なシステムをご提案します!!



かんたんクラウド™ ファイルBOX

9分でわかる「電子取引データ保存義務化制度と
かんたんクラウドファイルBOXのご紹介」動画公開中!!

PCの方><https://youtu.be/VGiqpra7HQ8>



スマホの方は
QRコードより視聴
ください。

編集 後記

北見総会も無事7月に終了しました。コロナ過で2年間も開催が出来なかったのが、感慨深いものがありました。長い間合うことのなかった先生とお会いでき、非常に嬉しかったです。来年は札幌ですので、きっと開催できると信じております。

何度も思うことですが、ミロク会計人会の皆様、北見地区会の先生、そして、いつも総会を支えてくれるMJSの社員の皆様には大変感謝しております。

いわて盛岡大会もよろしくお願ひいたします。

広報委員会委員長 大西 啓二